

そや とこと!

地域をつなぐ情報誌

広報 **はくい**

2008 NO.667

1

友好の桜 花ひらく

(姉妹都市群馬県藤岡市から贈られた冬桜：唐戸山)

特集

「市長と語る地区懇談会」から 羽咋市の進む道

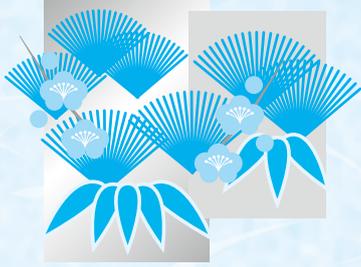
平成20年1月1日発行/発行者 石川県羽咋市(総務課担当)
〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地/電話0767-22-7161/月刊
ホームページアドレス <http://www.city.hakui.ishikawa.jp>
メールアドレス post@city.hakui.lg.jp



ミコト君
[古代バージョン]

タイトル「そやとこと!」の由来

相手の話に、「そう、そのとおり」と、同感の気持ちをもって受け答えるときのことはや態度です。お互いに思いやりをもって、交流を深めたい。そんな願いを込めてサブタイトルにしました。



年頭にあたって



若者の定着目指して 企業誘致を推進

道路整備など進め 交流人口拡大を

羽咋市長
橋中義憲



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、3月に能登半島地震の大きな被害に見舞われました。早急な災害復旧、復興のほか、風評被害の払拭に官民挙げて全力で取り組んでいるところであります。

さて、昨今の地方を取り巻く環境は、三位一体改革、地方分権推進のなか、財政基盤の脆弱な自治体においては、大変厳しい状況が続いております。このようななか、山彦計画として取り組んでまいりました神子原農産物直売所も昨年7月にオープンし、これまで順調な滑り出しをみせております。また、国道159号羽咋道路などを整備することにより、地域の活性化、定住人口の拡大を図ります。新たな企業進出では、大型ベアリング旋削加工の新工場も竣工するなど、雇用の原動力として大きな手応えを感じております。

さらに、本市の大きな観光資源である千里浜海岸の侵食問題についても、「なぎさ国際シンポジウム」などを開催しながら、国、県、市を挙げて全力で復元に向け取り組み、一定の方向性が見えてきております。羽咋にあるものを生かし、羽咋らしさで、若者が定着する街の実現に向け全力を傾注してまいり所存であります。

本年は、市制施行50年の節目の年であり、新たなスタートを切ります。夢と希望に満ちあふれた素晴らしい年になりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

羽咋市議会議長
川口正雄



新年明けましておめでとうございます。羽咋市議会を代表いたしまして、皆さま方に新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、3月25日に能登半島地震が発生し、能登地域に甚大な被害をもたらしました。大変な被災状況でしたが、どうにか復興にこぎつけてきているところであります。

さて、地方行政は、地方交付税や国庫補助金の大幅な削減により財政が圧迫され、自主財源の乏しい我々小規模自治体にあっては、大変苦しい状況に追い込まれております。

羽咋市は、この苦しい財政状況を、近年にない困難なやり繰りをして、乗り切っていかなければなりません。

また、市政の活性化を図るためには、国道159号羽咋道路など幹線道路網の整備を進め、交流人口の拡大につなげていかなければなりませんし、羽咋市の大切な財産であり、貴重な観光資源である千里浜海岸の早急な保全にも努めなければなりません。

少子高齢化が進み、福祉や教育など、取り組まねばならない課題も数多いなかで、市民の皆さまの要望や要請を真摯に受け止め、優先度、重要度を見極めながら、市政の発展を図っていかなければならないと考えております。

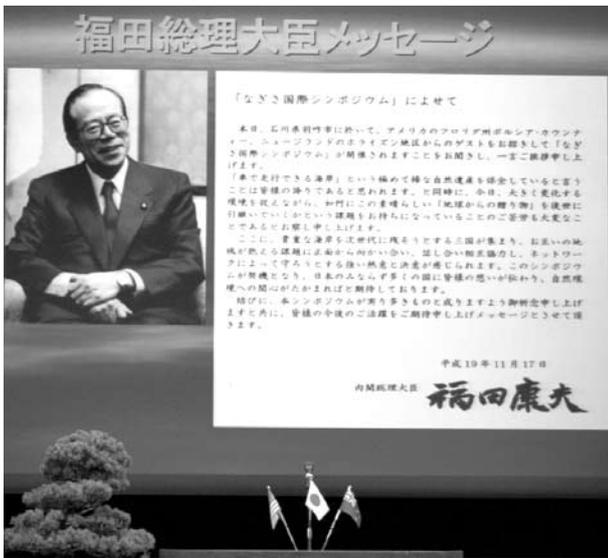
どうか、旧年にも増してのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さま方に幸せ多き年となりますことをお祈り申し上げます。

美しいなぎさを後世へ 三か国代表が共同宣言

11月17日、世界に3か所しかない普通の車が直接砂浜を走行できる海岸(アメリカ・デイトナビーチ、ニュージーランド・ワイタレビーチ、千里浜海岸)の関係者による「なぎさ国際シンポジウム」がコスモアイル羽咋で開催されました。

会場には、地元をはじめ県内外から1,100人余りが詰めかけ、3海岸の保全と利活用の現状や意見交換に耳を傾けました。

千里浜海岸の報告では、近年の深刻な侵食問題を取り上げるとともに、この夏に海岸保全の意識を高めることを目指して行った「ひとりひとりの砂運動」を紹介し、地元はもとより県や国を挙げた保全活動の重要性を訴えました。



▲シンポジウム開催に先立ち紹介された、福田内閣総理大臣からの激励メッセージ



▲満席となった会場



▲千里浜海岸の現状を説明する橋中市長



▲署名した共同宣言を交換する3か国の代表者

羽咋市の重要な観光資源であり、またシンボルでもある千里浜海岸と妙成寺。しかし一方で、千里浜海岸は侵食による海岸線の後退、妙成寺には五重塔の国宝昇格という問題や課題を抱えています。

それらの解決に向けてのシンポジウムが、11月に相次いで開催されました。

千里浜海岸・妙成寺五重塔 課題解決に向け シンポジウム開催

妙成寺五重塔 国宝昇格へ熱い討論

11月24日、「妙成寺五重塔の国宝指定に向けてのシンポジウム」がコスモアイル羽咋で開かれ、国宝昇格に向けた熱心な討論が交わされました。

基調講演では、櫻井敏雄・近畿大学教授が「妙成寺は五重塔を中心に建てられているのが珍しい」と^{がらん}伽藍配置の特徴を説明。

シンポジウムでは、^{ひがしよつやなぎ}東四柳史明・金沢学院大学教授が進行役となりパネルディスカッションが行われ、妙成寺が加賀藩主・前田家との関係が深いことや長年の風雪に耐えた建造物であることなどの意見が出され、集まった歴史愛好家など約120人はあらためて文化財的価値を認識しました。



▲パネルディスカッションに聞き入る参加者



▲妙成寺の建築について話す櫻井教授

羽咋市の進む道

11月8日から12月1日にかけて、市内11公民館で「市長と語る地区懇談会」を開催しました。

昨年に引き続いての開催でしたが、市の厳しい財政状況を市民の皆さんに説明してご理解・ご協力をお願いするとともに、地域の現状や課題をお聞きしました。

皆さんからいただいたご意見など生の声を、これからの市政に反映させていきます。



羽咋市の財政状況

①市が自由に使える収入が減りました

市税や国からの地方交付税・地方譲与税などは、特定の使用目的に縛られず、市が自由に使える収入です。平成16年度には75億円であったのが、平成19年度は66億円と、ここ3年間で9億円減りました。(グラフ1)

これは、三位一体改革などの国の構造改革の影響によります。これに伴い、支出も平成16年度には107億円であったのが、平成19年度で93億円(見込み)にまで減っています。さらに平成20年度以降は83～85億円程度に縮減する必要があります。

②基金(貯金)がなくなります

主な基金として、財源不足を補う財政調整基金、借金の返済のための減債基金、退職金の支払のため

めの退職手当基金などがあります。

その残高は、平成16年度末には12億3千万円あったのが、平成19年度末で3億6千万円まで落ち込み、平成20年度には底をついてしまう状況です。(グラフ2)

これまで収入が減った分を基金の取り崩しで補ってきたため、基金残高が減りました。

③多くの借金が残っています

借金の残高は、平成16年度に一般会計と特別会計を合わせて300億円であったのが、平成19年度で306億円、平成20年度には298億円と若干減ると見込んでいますが、依然として多額の借金があります。

今後、一般会計の借金は減少していく見込みですが、下水道事業などの特別会計の借金が増加傾向にあります。(グラフ3)

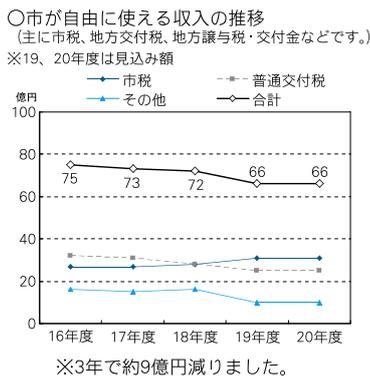
④職員数が6年間で72人減ります

市の職員数(一般会計分のみ)は、平成14年度に269人だったのが、平成19年度は216人、平成20年度には197人にまで減少すると見込んでおり、この6年間で72人減ることになります。(グラフ4)

団塊世代の職員が平成20年3月に多く退職するため、多くの退職金が必要となる一方、今後の職員の人件費が減ります。

羽咋市の財政としては、国の補助金や交付税などの歳入が予想以上に減少したため、基金(貯金)を取り崩して予算を編成しています。しかし、その基金も平成20年には底をついてしまう厳しい状況となっており、今後は、歳入に見合った歳出となるよう、歳出の削減を図っていく必要があります。

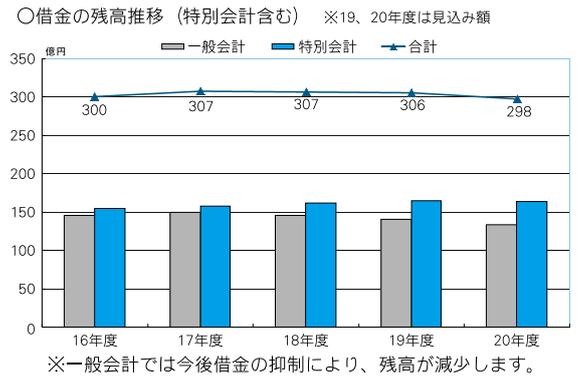
グラフ1



グラフ2



グラフ3



市民の視点で行財政改革への提言

このような財政状況のもと、市ではいろいろな行財政改革に取り組んできましたが、市民の視点からの改革も必要と考え、今年5月に立ち上げた市民行財政改革委員会の皆さんに協議を重ねていただき、事務事業の見直しや行財政改革への取り組みについての提言をいただきました。(提言内容については、広報はくい12月号をご覧ください。)

市では、委員会からの提言を十分に尊重し、全庁的に検討しながら、できるものから順次取り組んでいきます。

「元気な羽咋市」に向けての取り組み

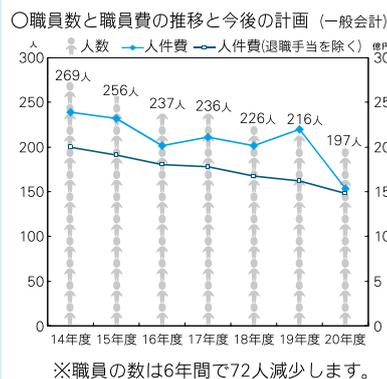
<若者の定住>

若者が定住するには雇用の場が必要であり、これまで企業の誘致を進めてきました。その結果、三ツ屋町にベアリング製造会社の栗田H T(株)、(株)NTN羽咋製作所が進出したほか、新保工業団地には製麺会社の(株)サンサスが進出を予定しており、今後も新たな企業の進出に向けて働きかけていきます。



▲NTN羽咋製作所(三ツ屋町)

グラフ4



<交流人口の拡大>

市への交流人口を増やすため、国道159号・415号バイパスなどの道路整備を国・県に要望してきました。

徐々に整備されつつありますが、今後も市の負担が伴わないような事業を推進していきます。

<地域の活性化>

神子原ブランド米など山彦計画による中山間地域の活性化を図る一方、民間レベルでも妙成寺五重塔の国宝化へ向けた運動が高まるなど、地域におけるまちづくり活動が活発化し元気が出てきています。

Q & A 地区懇談会での質疑応答から



Q 下水道事業は今後合併浄化槽で行うと聞いたが、その内容を教えてほしい。

A 下水道事業について、国が平成15年に見直しを行い、従来の管渠方式に加えて合併浄化槽設置も補助の対象とした。羽咋市全域の下水道整備が終了するのは平成42年と見込んでおり、少しでも早い整備に向けて合併浄化槽の設置を進めている。

合併浄化槽にする場合、5人槽で20万円の分担金となり、敷地内に布設してもらう。料金は、これまでの下水道料金と同額で、保守点検などの維持管理は市が行う。今後地元説明会を開催して、地域住民の理解を得ていく。

Q 中学校が老朽化しているが、統合問題は怎么样了のか。

A 羽咋中学校は、建築後約50年を経過しており、毎年改修しているが、根本的な改修が必要である。

生徒数も減少しており、羽咋中・邑知中合わせても700人に満たない。今すぐに統合などの方向性は出せないが、今後第2次の広域合併を進めるなかで、適正規模の学校整備について慎重に協議していく。

Q 市税の滞納対策として、一部の行政サービスのストップやコンビニでの納付、インターネットによる差押物件の公売、債権管理会社による電話催告などを行えばどうか。

A 税務課・総合窓口課が協力して夜間や休日に滞納整理を行っており、特に5月・8月・12月・3月を収納月間として集中的に実施している。

また、県の収納職員にも同行してもらうなどの連携も図っており、ご指摘の対策も検討していく。

Q 公民館の指定管理者はどのようにするのか。

A 公民館の運営管理は地元で行うのがベストであり、町会やまちづくり協議会にお願いしたい。

平成21年度からの導入に向けて、今後1年余りをかけて地元と相談していきたい。

まちづくりへのご意見・ご要望をお寄せください。

■「市長への声のはがき」または手紙・はがきの場合の住所

〒925-8501 羽咋市旭町ア200番地 羽咋市役所・総務課

■電話の場合 市企画財政課(☎22・7192)または市総務課・広報情報管理係(☎22・7161)

■メールの場合 post@city.hakui.ishikawa.jp

市議会 定例会

平成19年 第4回



市議会議場での橋中市長

羽咋市の12月定例議会は、12月3日から17日まで開催。市長提出議案18件、議員提出議案1件中、羽咋市の特定の事務の郵便局における取扱いに関する規約の廃止議案を否決、その他の議案を原案どおり可決、同意しました。この結果、一般会計の予算が歳入歳出それぞれ2億1,069万9千円追加されたことにより、平成19年度一般会計の総額は96億4,646万5千円となりました。

また橋中市長は、提出議案の説明のなかで、新年度の予算編成方針や行財政改革の取り組み状況など本市の当面する問題や取り組みについて次のように報告しました。

新年度予算方針

三位一体改革に伴う補助金や交付税の削減により、財政基盤の脆弱な自治体にとっては住民サービスへの影響が危惧されるなか、本市でも、財政調整基金をはじめ各種基金が底をつくなど危機的な財政状況です。

新年度の予算編成にあたっては、現在の歳入状況に見合った歳出規模の確立を図ることを柱とし、すべての事務事業について大胆にメスを入れるよう指示したところです。

行財政改革の取り組み状況

10月に、市民行財政改革委員会から提言を受けており、委員会の意見を十分に尊重し、検討を行い、できるものから順次、予算や事業に反映させたいと考えています。

また、組織機構改革については、課および係の統合を進め、業務の効率化と職員の協力態勢を確保し、市民サービスの維持、向上を図るとともに、団塊世代の大量退職による急激な職員数の減少にも柔軟に対応し、人件費の抑制につなげたいと考えています。

市長と語る地区懇談会

市長就任以来、「対話と協調」「現

場主義」を市政運営の基本として位置付けており、市民生活の現場に足を運び、市民の皆さまの声に耳を傾けることが何よりも大切であると考えています。

11月8日の千里浜公民館を皮切りに、市内11か所の公民館で地区懇談会を開催し、本市の厳しい財政状況や行財政改革の進め方、各種事業の現状などについて、説明しました。

市民の皆さまからは地域の現状や課題を伺うとともに、貴重なご意見やご提言をいただきました。各地区からの要望は緊急性や効果を考慮し、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、解決に向け努力したいと思えます。(4～5頁参照)

下水道整備計画の見直し

住民ニーズへの即応や財政負担の軽減などを図るため、整備計画の見直しを検討してきましたが、今後の整備方針として「合併浄化槽方式」による整備を進めることとしました。

16町会が新たに当該方式を採用することとなるため、関係する町会長さんに個別に説明するとともに、町会単位の説明会を順次実施しています。今後も地域住民の皆さまのご理解とご協力を求めています。

道路改良事業の進捗状況

◆市道邑知7号線改良事業

J Aはくい太田給油所から県道若部川原線に接続する市道の改良事業です。今年度は、測量設計、地質調査ならびに全体の8割程度に当たる6,800平方メートルの用地を取得する予定です。

新年度からは、残りの用地取得と改良工事に着手し、平成23年度の完成を見込んでいます。

◆市道富永98号線改良事業

昨年度からの継続事業で、現在、吉崎川に架かる橋梁工事の上部工および取り付け道路工事をしていますが、いずれも本年度末には完成する見込みです。

道路除雪対策

11月に除雪会議を開き、除雪路線の削減やこれまで積雪10センチ以上とされていた除雪実施基準を見直し、15センチ以上とすることなどを各町会や関係者の皆さまにご説明し、ご協力をお願いしました。

12月1日に道路除雪対策本部を設置し、除雪機械58台で対応しています。今後も、除雪実施基準などの見直しを行うなか、市民生活に支障をきたさないよう交通の安全確保に努めていきます。

「なぎさ国際シンポジウム」

11月17日、コスモアイル羽咋で、「車が走行できる世界の3海岸」をテーマに、千里浜海岸、アメリカのデイトナビーチ、ニュージーランドのワイタレレビーチの自治体代表者によるシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、各地の砂浜海岸の保全や利活用の現状を紹介するとともに、侵食問題など互いの地域が抱える課題の解決に向け意見交換を行い、かけがえのない^{なごみ}を保全するために努力を惜しまず、人類共有の遺産として後世に引き継ぐことなどを確認し、宣言しました。

当日は、地域の皆さまをはじめ、1,100人も多くの方々参加をいただき、貴重な財産である千里浜海

岸の保全と利活用の重要性を広く国内外に情報発信することができ、深く感謝を申し上げます。また、シンポジウムの開催に寄せて、福田康夫内閣総理大臣から激励のメッセージをいただき、大変ありがたく、そして心強く感じているところです。

このシンポジウムを契機として、千里浜海岸の保全に対する機運がさらに高まり、より大きな活動と着実な成果につながることを期待しています。(3頁参照)

神子原農林水産物加工販売施設の運営状況

7月7日にオープンした本施設では、朝とれの新鮮な地元野菜やブランド米として知られた神子原米などが並び、また、併設のそば処「里山」では、香り豊かな手打ちそばを楽しむことができるなど、県内外の多くの買い物客でにぎわっています。

売り上げも順調に推移しており、指定管理者の株式会社「神子の里」では、当初設定した年間売上高2,000万円を大幅に上方修正し、年間6,000万円に変更されたと聞いています。

農家の方々にやる気と元気が生まれるとともに、地域の活性化をはじ

め、交流人口の拡大や観光振興にも大きな手応えを感じているところです。今後も、官民が一体となった地元特産品のブランド化の推進や先駆的な経営戦略の取り組みなど、元気なまちづくりを目指し、羽咋イズムの実践に力を注いでいきたいと考えています。

ホクリクサンショウウオ保護地の確保

昭和46年に日越路野小学校校庭で発見されたホクリクサンショウウオは、環境省の絶滅危惧種に指定されています。

同校跡地は、すべて民有地であり、建物の解体および整地を行った後、土地所有者に返還する予定でしたが、市有地として取得し、ホクリクサンショウウオの保護ならびに将来の有効活用を図りたいと考えています。

老人医療制度

平成20年4月から、75歳以上の高齢者すべてが加入する後期高齢者医療制度がスタートしますが、11月26日、県内全市町で構成する石川県後期高齢者医療広域連合で臨時会が開

催され、被保険者の保険料が平均で月額7,047円と決定されました。

今後、市では、後期高齢者医療制度の仕組みや保険料などについて、広報紙や地元説明会を通じ、PRに努めたいと考えています。(16頁参照)

【一般質問】

12月11日には7議員が一般質問に立ちました(質問順)。

◇山田長久議員

(1)人口減少と少子化対策について
(2)リサイクルセンターから広域農道、最終処分場への道路改修について
(3)橋中市長の再選出馬について

◇山辺芳宣議員

(1)新年度の予算編成方針について
(2)財政について
(3)下水道事業の政策転換について

◇浅野俊二議員

(1)公立羽咋病院の医師不足と看護師の確保について
(2)教育問題について
(3)入札問題について
(4)日T社問題について
(5)羽咋市職員倫理条例と職員の綱紀粛正について
(6)管理職員の飲酒運転問題について
(7)核燃料税問題について

◇白田秋也議員

(1)下水道整備方針を変更する理由と住民説明について
(2)羽咋市の農業振興について
(3)後期高齢者医療制度について
(4)子どもの医療費助成制度について
(5)個人情報保護について

◇岩田勇議員

(1)能越ケーブルネット(株)羽咋放送センターの現状と羽咋市の対応について
(2)なぎさ国際シンポジウムの成果と今後の取り組みについて
(3)公民館の指定管理者制度の導入について
(4)後期高齢者医療制度の保険料について
(5)納税組合制度の全面廃止について
(6)千里浜財産区の積み立て基金の運用について

◇塩谷久司議員

(1)財政について
(2)市中心街の活性化対策について

◇藤井敬一議員

(1)市情報非公開について
(2)教育問題について
(3)的場町の県道立体化工事について
(4)男女共同参画について
(5)市政懇談会について

*質問内容や市長はじめ執行部からの答弁内容は、近く発行される『市議会だより』をご覧ください。

【可決された主な議案など】

<市長提出分>

◆平成19年度羽咋市一般会計補正予算(第5号)◆平成19年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)◆平成19年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第2号)◆平成19年度羽咋市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)◆平成19年度羽咋市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)◆平成19年度羽咋市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)◆平成19年度羽咋市水道事業会計補正予算(第1号)◆郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定◆羽咋市課制条例の一部改正◆羽咋市立千里浜保育所の指定管理者の指定◆羽咋市デイサービスセンターの指定管理者の指定◆羽咋市立図書館の指定管理者の指定◆羽咋市土地開発公社定款の一部変更◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正◆平成19年度羽咋市一般会計補正予算(第6号)

<議会提出分>

◆羽咋市議会委員会条例の一部改正

【人事案件】

教育委員会委員として、山岸紀子氏(飯山町・新任)の任命に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員として、萬元齊氏(千里浜町・再任)の選任に同意しました。

人権擁護委員として、金田八朗氏(下曾祢町・再任)、古池和子氏(千里浜町・再任)、室田大氏(千路町・再任)、釜谷千恵子氏(大川町・新任)、中駄弘之氏(瀧谷町・新任)を適任と答申しました。



まちかど探検隊

広報係では、あなたの回りの身近な話題を待ってます。☎22-7161へ



▲オーケストラ・アンサンブル金沢を前に「手のひらを太陽に」を歌う子どもたち

心に残る名曲を家族みんなで

11月23日、2007ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭「親子で歌いつごう日本の歌100選」がコスモアイル羽咋で開かれました。

オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏に合わせ、ソプラノの仲谷響子さん、直江学美さん、テノールの吉原教夫さんが、合唱愛好者による特別混成合唱団や市内の小学生約100人による特別少年少女合唱団とともに「うみ」や「手のひらを太陽に」など思い出に残る名曲を歌い、家族連れなど大勢の聴衆を魅了しました。

熱戦展開！ソフトバレーボール大会

11月25日、女子のみの種目ソフトバレーボール大会（子ども会育成会主催）が羽咋体育館で開かれました。

今年は50チームが参加し、学年ごとに熱戦が繰り広げられました。主な成績は以下のとおりです。

【成績】

6年生の部

優勝：西北台A、準優勝：邑知A、3位：余喜A、瑞穂B

5年生の部

優勝：瑞穂A、準優勝：余喜B、3位：邑知A、余喜A

4年生の部

優勝：邑知A、準優勝：瑞穂A、3位：羽咋A、瑞穂C



▲優勝した3チーム 左から、瑞穂A(5年)、西北台A(6年)、邑知A(4年)



▲打ちたてのそばやくわい入りおこわに舌鼓

旬のくわい・そばを堪能

12月1日、邑知公民館神子原分館などで、神子原特産のくわいと名物のそばを味わう「第7回くわい・そばまつり」が開かれ、くわいを使ったおこわやから揚げ、新鮮な野菜、神子原米などが販売され、多くの買い物客でにぎわいました。

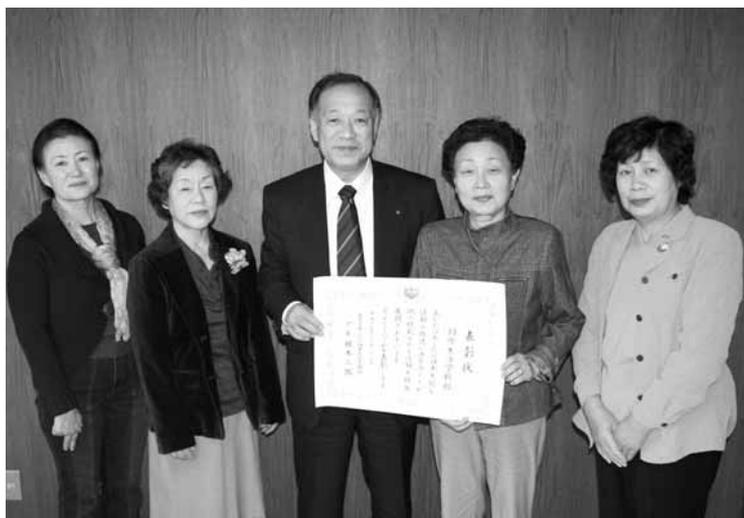
この日は、公民館に隣接するそば処「里山」がつくる手打ちそばが、通常より安く食べられるとあって人気を集め、順番を待つ姿も見られました。

たゆまぬ努力の証し

「平成19年度あしたの日本を創る運動推進功労表彰」を受賞した「羽咋生活学校」代表の川井康子さんをはじめメンバー4人が、11月28日、報告のため市役所を訪れました。

「羽咋生活学校」は、ごみの減量化やリサイクルなど身近な暮らしの問題を見つけ、話し合いや実践活動をするなかで解決していこうと、長年にわたり頑張っているグループです。

最近、マイバッグ運動や生ごみは水分をよく切ってから捨てるという「ひとしぼり運動」を展開するなど、地道な環境活動などへの取り組みが認められ、今回の受賞となりました。



▲表彰状を手に喜びの羽咋生活学校のメンバー

青年団まだまだ元気です

12月2日、「第26回石川県青年文化祭」がコスモアイル羽咋で開かれました。

「石川改革～青春の宝箱やあ～」を大会テーマに、県内4市町から青年団員約80人が集まり、郷土芸能や演劇、のど自慢、将棋など計9部門で日ごろの練習の成果を競いました。

6年ぶりにエントリーがあった演劇部門では、地元羽咋市青年団協議会が高校生役になり、いじめをテーマにした「友情」を熱演し、努力賞を受賞しました。



▲羽咋市青年団協議会「友情」



▲郷土芸能部門で最優秀賞に輝いた金沢市青年団協議会「木越八幡喧嘩獅子」

私の英語うまく伝わったかな

12月9日、コスモアイル羽咋で、羽咋市英語スピーチ&スキット(寸劇)フェスティバルが行われました。

小学生から大人まで、約100人が参加し、感情豊かに演説と演技を披露し、会場から盛んな拍手が送られました。

【スピーチ部門最優秀賞】

中学生の部

竹内志帆さん(羽咋中3年)

高校生の部

岡田正成さん(鹿西高2年)

大学生の部

北洵子さん(金沢学院大3年)

【スキット部門最優秀賞】

邑知中学校1年生



▲流暢な英語で話す竹内さん



▲スキット部門で最優秀賞を獲得した邑知中学校「A pot of poison (ぶす)」

■開館時間

平日 午前9時～午後7時
土・日・祝 午前9時～午後5時

■1月の休館日

1日(火)～4日(金)・8日(火)・9日(水)
15日(火)・22日(火)・29日(火)
休館日は毎週火曜日と第2水曜日です。

■たのしいおはなし会

1月19日(土) 午後2時30分～
コスモアイル羽咋・和室

■あかちゃんおはなし会(0歳～3歳)

1月21日(月) 午前10時～
図書館・おはなしコーナー

■連絡先(☎22・9777)

電子メール lib@city.hakui.lg.jp

♡ 今月の本棚 ♡

編み物の本



「太い針ですぐ編めちゃう」

普通より太い針や毛糸を使ったり、何本か合わせたりすれば、編み目の数が少なくてすむので、あっという間に編めます。大きな編み目はそれだけでかわいいし、多少ふぞろいでもかえて味が出来ます。シンプルなデザインでも大胆なデザインでもOK!ぜひ、おそろいの小物も編んでみてください。

♣ 子ども本棚 ♣

ゆきの本



「ゆきのおじさんありがとう」

ほくは ゆきだるま。あるひ、ゆきのおじさんが やってきて、ほくにまほうを かけてくれました。あたたかくなって も とけないまほうです。そこで、ほくは ともたちのペンギンと たびにでかけました。なんにちかして まわりのゆきは とけてしまいました。ほくは とけませんでした。さあ ことは いっぱいあそべろぞ!

1月の新着図書

●一般向け

日本人の春夏秋冬 季節の行事と祝いごと (新谷尚紀) いろはかるた (時田昌瑞) 「神社と神さま」がよくわかる本 (島崎晋) 手づくりしたい ほかほか中華まん (茂手木章) 洗濯・衣類の基本 (池田書店) 塩とスパイスのお菓子 (荻田尚子) ワンポイントアップリケ図案 365 (日本ヴォーグ社) 格差・貧困と生活保護 (杉村宏) そうだったのか! ニュース世界地図 2008 (池上彰) ワークライフバランス入門 日本を元気にする処方箋 (荒金雅子) 図書館革命 (有川浩) ホルモー六景 (万城目学) 魔物 (大沢在昌) 名将 山中鹿之助 (南原幹雄) 愛別離 (山口瞳) 青色賛歌 (丹下健太) 肝心

の子供 (磯崎憲一郎) 黒髪 (谷村志穂) ディアローグ (平野啓一郎) 永遠を旅する者 ロストオデッセイ千年の夢 (重松清) 晩鐘 続泣きの銀次 (宇江佐真里) モノローグ (平野啓一郎) 靖国への帰還 (内田康夫) 夫の火遊び (藤堂志津子) 星へ落ちる (金原ひとみ) 宮本輝全短編 (宮本輝) 厭犬伝 (弘也英明) ゴッドスター (古川日出男) ゴールデンスランパー (伊坂幸太郎) 泣き虫ハアちゃん (河合隼雄) ブラック・ジャック・キッド (久保寺健彦) おそれずにたちむかえ (町田康) 神書板刻 (澤田ふじ子) 国境事変 (菅田哲也) 長き雨の烙印 (堂場舜一) 穴を掘る人々 (池永陽) てれんぱれん (青来有一) トラヤ (南木桂

士) 武蔵野倶楽部 (村松友視) 目覚めよと彼の呼ぶ声がする (石田良良)

●子ども向け

お皿のボタン (たかどのほうこ) おばけ屋のおばけツリー (あわたのふこ) へいきのヘイタ (原京子) チビまじよチャミー (藤真知子) ノーチラス号の冒険7 (ヴォルフガング・ホールバイン) コトコトでんしゃ (とよたかずひこ) チームふたり (吉野万里子) いつまでも (アンナ・ピンヤタロ) チビクマちゃんのだいじなともたち (ドゥブラフカ・コラノヴィッチ) まじよ子とようせいの国 (藤真知子) おばけのきゅうしょく (むらいかよ) アップルパイたべて元気に

なれ (茂市久美子) あたらしいおともたち (講談社) ママだいすき! (講談社) バスがきました (三浦太郎) はたらきもののトラック、キング (松本州平) ねずみくんおおきくなったらなにになる? (上野紀子) マーリー (ジョン・グローガン) かわいいこねこをもらってください (なりゆきわかこ) ごきげんぶーた (さとうめぐみ) てこあてすりすり (長谷川知子) もったいないことしてないかい? (真珠まりこ) ファンタージエン (ペーター・デンプフ) しずちゃんうらないブック (学研) アモス・ダラゴン 12 (ブリアン・ペロー)

市史編さん だまのひ

第10号

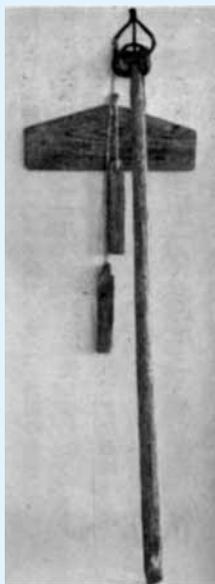
ふるさとの魅力を見直しながら、
新しい『羽昨市史』づくりに
取り組む活動を紹介しています。



市史 トピック

旬の情報
お届けします

新着情報



夜回り用の錫杖と拍子木

昭和4年3月の千路村の大火では、198戸中127戸、土蔵29棟、納屋23棟が灰と化しました。今も昔も火は、暖を取ったり、食事の用意をしたりと私たちの生活には欠かせませんが、扱いを誤ると、命さえ落としかねません。火事を出さないように、日ごろから住民の防火意識を高めることが大切です。千路町では、現在でも火の用心の夜回りを行っています。

写真は、昭和50年ごろまで土橋町で夜回りの時に使われていたものです。当番戸名が記された板のついた錫杖を持って拍子木を打ち鳴らしながら、夜回りを行い防火に努めたそうです。

[写真：羽昨郡市広域圏事務組合消防本部蔵]

市史専門部会研究会で 意見交換

市史編さん委員会専門部会では、毎月1回のペースで執筆者による研究会が開かれています。

毎回、それぞれ担当分野の調査・研究状況の報告や資料・情報の交換をはじめ、原稿を実際に書く際の申し合わせをしたり、本文全体の調整や事務局との連絡・確認をしたりしています。

12月3日の部会には、本文執筆者9人のうち7人が参加して、熱心に意見が交わされました。

席上、提案された本論の印刷組見本について、文字の形や大きさ、色などが、市民にとってわかりやすく親しみの持てるものであ



懐かしの写真

カニの振り売り

道端で天秤棒からおろされた竹カゴのカニを品定めしている主婦。今では懐かしい光景です。毎年11月のカニ漁解禁で日本中が日本海のカニに熱い思いを寄せています。ズワイガニや香箱ガニのおいしさが、季節限定の味であること、今も昔も変わらないようです。

[写真：「本多惣一資料」市資料館蔵、昭和20～30年ごろ]



いつのまにか失われていく 「時代を語るモノたち」

新築をしたり、不要な建物が取り壊されたりする時に、人々の生活文化の証であるモノも一緒に処分されていきます。何げない紙切れの束の中に歴史資料となるモノが紛れ込んでいることもあります。最近では、改築などの際に

歴史民俗資料館に連絡をいただくことも多くなりました。先般も、鹿島路町で、大切に保管されていた江戸時代から明治にかけての絵図や古文書などを市でお預かりすることになりました。邑知潟崎絵図や潟狐関係文書など羽昨市史近世編などに掲載されているものも含まれていました。

商家や個人のお宅で、古い帳簿類や写真、日記などを燃やしてしまったということもしばしば耳にします。処分する前に一度ご連絡ください。

明治、大正、昭和を人がいかに生き抜いてきたかを静かに語り伝えるモノたち。足跡を振り返り、明日を考える資料として時代を担う子どもたちに残していきたいと考えています。

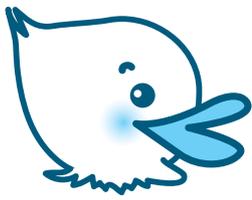
資料&写真募集

皆さまの「懐かしの写真」をお待ちしております。資料を提供された方には、粗品を進呈させていただきます。



■連絡先

市文化財課・市史編さん係 ☎22・5998
または総務課・広報情報管理係 ☎22・7161



はくい
子育て

情報局

各教室や健診の
お問い合わせは…

健康福祉課

☎22-1115へ



乳幼児健診

場所 羽咋市文化会館 2階和室

受付時間 午後1時15分～2時

4か月児健診

1月16日(水) 平成19年9月生

1歳6か月児健診

1月24日(木) 平成18年6月生

3歳児健診

1月23日(水) 平成16年8月生

★はくい子育てサロン (☎22・1518)

子育て中の方々、子どもと一緒にちょっと寄って、ホッと居られる場です。どなたでもお気軽にどうぞ。

場所 あだちストアジョイフル店

時間 午前9時30分～午後5時15分

お休み 年末年始

催し物

★誕生会 1月16日(水)

午前10時30分～11時30分

★お楽しみデー 1月30日(水)

午前10時30分～11時30分

★育児講座 1月22日(火)

午前10時30分～11時30分

「絵本の読み聞かせ」

場所 子育てサロン

講師 上田裕美子さん



<お子さんの食事や健康など、
「子育て」について話し合いませんか？>

日時 1月17日(木)

午前10時～正午

場所 羽咋公民館 2階実習室・和室

内容 食体験(調理実習・試食)、
子育ての情報交換 など

対象者 未就園児の親子 8組程度

申込み 1月11日(金)までに子育てサロ
ンへ (☎22・1518)

★子育てふれあい広場

未入所児とその家族を対象に、遊びや情報交換の場として、5つの保育所・保育園で週1回開催しています。

時間 午前9時30分～11時 対象 保育所未入所の親子

連絡先 (月)邑知保育園 (☎26・0059) (火)こすもす保育園 (☎22・8181)
(水)西北台保育所 (☎22・1559) (木)千里浜保育所 (☎22・0764)
(金)とき保育園 (☎24・1001)

また、西北台保育所では月～土の午前中、子育て支援室や所庭を開放しています。どなたでも自由に参加できます(無料)。気軽にお越しください。

とき	内容	ところ
1月7日(月)	お正月遊びをしよう	邑知保育園
8日(火)	お正月を楽しもう	こすもす保育園
9日(水)	お正月遊びをしよう	西北台保育所
10日(木)	お正月遊びをしよう	千里浜保育所
11日(金)	お正月遊びを楽しもう	とき保育園
15日(火)	お正月遊びを楽しもう	こすもす保育園
16日(水)	親子リトミック講座	西北台保育所
17日(木)	新聞紙で遊ぼう	千里浜保育所
18日(金)	ボールで遊ぼう	とき保育園
21日(月)	お正月遊びをしよう	邑知保育園
22日(火)	冬の遊びを楽しもう	こすもす保育園
23日(水)	パネルシアターを見よう	西北台保育所
24日(木)	保育所のお友だちと遊ぼう	千里浜保育所
25日(金)	いっしょに遊ぼう	とき保育園
28日(月)	パネルシアターを楽しもう	邑知保育園
29日(火)	保育園のお友だちと遊ぼう	こすもす保育園
30日(水)	鬼の面を作ろう	西北台保育所
31日(木)	鬼の面を作ろう	千里浜保育所

★羽咋市立千里浜児童センター (☎22・6318)

どなたでも利用できる、多彩な遊びが楽しめる施設です。

乳幼児のお子さんは、必ず保護者の方が一緒にご利用ください。

利用時間 午前9時～午後6時 利用料 無料

お休み 毎週火曜日・第3日曜日

年末年始休館日 12月29日～1月4日

毎週水曜日 午後4時 館長さんの手作り教室

毎週月曜日 午後4時 おはなし広場(絵本読み聞かせ)

毎週金曜日 午後4時30分 トランポリンクラブ 講師:細川 聡さん

とき	内容	参加費など
1月★6日(日) 午前10時	正月遊びとお茶会	<千里浜老人会との交流>
★12日(土) 午前11時	16ミリ映画会、ビンゴゲーム	
★13日(日) 午後2時	おもしろ工作 絵馬	参加費50円 15人
★19日(土) 午後2時	羽子板作り&羽根つき大会	参加費50円 15人
26日(土) 午後2時	オセロ大会	
26日(土) 午後7時	卓球大会	場所:千里浜公民館(共催)
27日(日) 午前10時	お茶クラブ	講師:前田美穂子さん

★印の行事は保護者の方も参加できます。お子さんと一緒に楽しみましょう。

※平日の午前中は、未入所児とその家族の方など自由にご利用ください。

幼児用乗り物やすべり台、ブランコ、マットなどの遊具もそろっています。

咳エチケット

ひろげよう



ひろげるな インフルエンザ

マスクをせずに咳やくしゃみをすると、ウィルスが2桁から3桁飛ぶといわれています。そこで必要なのが「咳エチケット」

咳エチケットって？

- 咳・くしゃみの際には、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- 使用後のティッシュは、すぐにふた付きのごみ箱に捨てましょう。
- 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。

その他、インフルエンザ予防のために

- ◇帰宅後は、手洗い、うがいを行いましょう。
- ◇栄養と休養を十分にとりましょう。
- ◇流行前に予防接種を受けましょう。

インフルエンザについての お問い合わせは

市健康福祉課・健康推進係 (☎22・1115)
または、あなたのかかりつけ医へ

中学1年生・高校3年生に 麻しん風しん混合の予防接種が導入される予定です ～平成20年4月から平成25年3月までの5年間限定～

予 告

今まで麻しんワクチンを1回しか受けていない世代に対して、公費で2回目の予防接種が受けられます。

これは、乳幼児期に接種したワクチンの免疫が数年たつと低下するため、追加接種し、今後の麻しんによる感染を予防することが目的で行われます。

また、風しんについても、先天性風しん症候群の赤ちゃんの出生を予防できます。原則として「麻しん風しん混合ワクチン」を接種します。

なお、内容については一部変更となる場合があります。

問い合わせ 市健康福祉課・健康推進係 (☎22・1115)



千里浜保育所職員募集

指定管理者 学校法人羽咋白百合学院

募集職種 保育士 採用人数 若干名

申込受付 1月25日(金)まで 必要書類 自筆履歴書

問い合わせ・申込み

〒925-0048 羽咋市松ヶ下町松ヶ下28番地1

学校法人羽咋白百合幼稚園内羽咋白百合学院職員採用係

☎0767・22・0498 FAX 0767・22・9612

E-mail sirayuri@po.incl.ne.jp



羽咋市臨時職員(余喜公民館主事)募集

募集職種と人員

募集職種	人員	配属先	賃金日額
公民館主事	1人	余喜公民館	5,590円

勤務条件など

- ・勤務時間 週40時間の範囲内で勤務
(勤務時間、休日などについては別に指定)
- ・その他 有給休暇、交通費、社会保険制度あり

選考方法 面接による選考

採用予定 平成20年2月から

雇用期間 平成20年3月31日(月)まで
(4月以降も雇用となる場合があります)

申込受付 平成20年1月18日(金)まで
(別途面接日などをお知らせします)

問い合わせ・申込み 市総務課人事係 (☎22・7161)



関森 繁さん (64歳)
(志々見町出身・富山市)



No.247

「郷愁」

生まれ故郷“羽咋”を離れ、長い年月を経過しましたが、その大半を物造りを主な仕事とする会社に勤めてきました。

物造りのスタートは、日米の合併会社での船舶用製品製造でした。その後原子力発電所向け放射性廃棄物処理装置、さらには航空宇宙事業にも関わり、H2ロケット、スペースシャトル用周辺機器の製作へと拡大してきました。

後年は海外に本社がある完全外国資本経営の一員となり、国内外で生産拠点で継続して物造りに携わっていましたが、昨年9月同社の取締役副社長職を最後にサラリーマン生活の終止符を打ちました。

この間、関係者のご配慮により「広報はくい」を継続して購読することとなり、郵送されてくる同報は生まれ故郷“羽咋”に関する主要な記事を目にできる重要な情報源でありました。時には掲載されている記事から羽咋在住の友人、知人と思いつく花を咲かせ、郷愁にふける状況を与えてもらう大切なものでもありました。——子どものころの羽



▲自宅のアトリエで

咋界隈は、清流に類する河川が多くあり、当然ながらそこに住んでいる魚類は正に清流のものでありました。

また、夏には川の深場を利用して多くの子どもたちが遊泳、浅瀬での川遊び、さらには広い砂浜のある遠浅の千里浜海岸での海水浴のにぎわいなどが子どものころの強い思い出として脳裏に焼きついています。現在はその面影が消えゆくのを強く感じ、寂しい思いもしております。

退職をした現在は、自己流ではありますが日本画にトライ。その題材を求めて出歩いたり、早朝に夫婦で散歩したり、健全な第二の人生のために心身強化とその維持に努めています。

Mr. T-HIL の 羽咋 体験記

Differences in the Japanese and American personalities



日本人とアメリカ人の個性の違い

日本人は内心を知られるのを恥ずかしいと感じます。それは武士道的で、かっこいいと思います。でもそれがあまりに強過ぎると、自分自身を表現できなくなってしまいます。

逆のことがアメリカ人にいえます。彼らは若い時から、両親や学校の先生から、自分自身を知るべきだと教えられます。同時に自分にも相手にもそのように直接的に表現します。相手を励ましたり、元気を出せと言ったり、激励したりします。それもいいことだと思います。

しかしそれが度を過ぎると、つまり相手にそれを言うのが不適切な時でも、いつでもすぐに自分の意見を主張します。

日本人は静かで、つつましいし、話す前によく考えます。一方、アメリカ人は華々しく、時には、げげげげしくもありますが、傲慢になる時もあります。

日本人はよく我慢しますね。しかしアメリカ人は我慢できません。そのためちゃんと考える前に行動

を起こします。

また、日本人は仕事をとても大事にします。それはアメリカ人も同じですが、ほとんどの人は仕事が嫌いというのも現実です。また、日本人は自分の意見を言うよりも、上司か専門家の意見を聞こうとしますね。アメリカ人はそれを自分で判断して仕事をしたいと考えています。「Do It Yourself」スタイルですね。時にそれは中途半端に終わったりしますが。

さて、どちらの方がいいでしょうか？実はアメリカを出る時には、私はそのようなアメリカに少々疲れていました。しかし、不思議ですね。中には「もう、日本のスタイルが疲れるよ！」と言う日本人に出会うこともあります。毎日私たちは自分自身を、そして性格までもコントロールしようとしています。

最後にこのような皆さんに、ある英語の諺をプレゼントします。Just be yourself. 「あなた自身であってください」

らぶ はくい人

羽咋太極拳クラブ

毎週、火曜日は午後7時30分から9時まで、土曜日は午前10時から11時30分まで、千里浜公民館で活動しています。



健康に効果抜群

太極拳というと「お年寄りの健康体操」というイメージを持っていませんか？ 太極拳は、歴史と伝統ある武術であり、美容や健康効果を備えもつものとして幅広い世代にわたり、高く評価されています。

羽咋太極拳クラブは現在、25人のメンバーで構成されており、自分のペースで楽しく活動しています。中



▲動きはゆっくりですが、次第に汗が

には県代表として、全国大会に出場している方もいるとか。また、指導員の資格をもった方も数人いるそうです。

このクラブで太極拳を続け、腰痛やひざの痛みがなくなった人や身体が軽くなり疲れにくくなった人、かぜをひかなくなった人、ゆったりとした動きによりストレスを解消した人がいるなど健康面でたくさんの効果が表れています。

羽咋市武術太極拳協会の理事長である三谷宗久さん(千里浜町・71歳)は、「経験年数はさまざまですが、みんなで楽しく、和やかな雰囲気です活動し、そして続けることがこのクラブの目的です。たくさんの人に体

験してもらい、太極拳の健康効果で元気なまちをつかっていきたいですね」と魅力を語っていただきました。

疲労やストレスを受けやすく、健康ブームである今日、太極拳で健康づくりをしてみたいはいかがですか。

太極拳 1 日体験教室開催

日時 2月12日(火)、19日(火)
いずれも午後7時30分～9時
場所 千里浜公民館(☎22・0148)
定員 30人(どなたでも)
受講料 無料(ただし、保険料100円)
申込締切 1月30日(水)まで
問い合わせ・申込み
市体育課(☎22・3396)、千里浜公民館

姉妹都市 交信

姉妹都市の「群馬県・藤岡市」からのお手紙です

新年のごあいさつ

羽咋市民の皆さま、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

羽咋市民の皆さまには、昨年も恒例の「藤ウォーク」「竹沼マラソン」に加え、文化協会やバレーポールの子どもたちなど、大勢の方々のご来藤をいただき、ありがとうございました。また藤岡祭りでは観光協会の方々とともに、橋中市長さまにご参加いただき花

を添えていただきました。あらためて御礼申し上げます。

藤岡市からは、「唐戸山神事相撲」に市議会議員、社協役員一行が参加し、^{かがりび}篝火の中、大勢で神事相撲を堪能させていただきました。また初めて「千里浜ちびっこ駅伝」に参加させていただき、美しい海岸を走ってまいりました。今年から「ビーチバレー」とともに、毎年参加の方向で準備しておりますので、ぜひともよろしくお願いたします。

また昨年は、姉妹都市提携20周年記念事業として、唐戸山などへ「冬桜」を植樹させていただきました。近い将来、羽咋市内のあちこちに藤の花や冬桜の咲く姿が見られることを楽しみにしております。

ここ数年は行き来が盛んになり、大

変うれしく思います。お互いの良いところを見聞し、交流を深め、両市の友好関係が末永く続き、お互いに発展していきますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



▲新井利明藤岡市長

後期高齢者医療の保険料率などが決定

4月から、平均月額7,047円

平成20年4月から、75歳以上の高齢者が対象になる後期高齢者医療制度が始まります。石川県内の全市町が加入している石川県後期高齢者医療広域連合は、昨年11月の同広域連合臨時議会で、保険料率(所得割率8.33%、均等割年額45,480円)などの条例を可決しました。

試算では、平均保険料額は月額7,047円、年額84,564円となります。

また、所得の少ない方や会社に勤めている子どもなどの健康保険に加入している方(被用者保険の被扶養者)などには、保険料の軽減措置が設けられています。なお、各被保険者が納める保険料額については、現在、広域連合で計算中です。(保険料額については、平成20年4月上旬に各被保険者へお知らせします)

被保険者と保険料率

後期高齢者医療の被保険者となる方は、75歳(一定以上の障害認定がある方は65歳)以上の方で、個人ごとに保険料が掛かります。

保険料額は、加入者全員が等しく負担する「均等割額」と被保険者の所得に応じて負担する「所得割額」の合計額となります。

●石川県の後期高齢者医療保険料(所得割額+均等割額)の年額

①所得割額

(総所得金額-33万円)×8.33%

②均等割額 45,480円

※賦課限度額は、1人当たり年間50万円が上限となります。

保険料の軽減措置

1 所得の少ない方に対する軽減

世帯の所得水準に応じて、保険料の均等割額が7割、5割、2割軽減されます。(下図1)

2 被用者保険の被扶養者に対する軽減

75歳(一定以上の障害認定がある方は65歳)以上の方で、後期高齢者医療の被保険者になる日の前日(平成20年3月31日または75歳の誕生日の前日)に「被用者保険の被扶養者(注)」となっている

方は、後期高齢者医療に加入したときから2年間は均等割額のみとし、均等割額も5割軽減されます。

ただし、平成20年度は特別措置として、平成20年4月から9月までの半年間の保険料は無料となり、平成20年10月から翌年3月までの半年間の保険料は均等割額が9割軽減された額となります。

(注)「被用者保険の被扶養者」とは

被用者保険とは、政府管掌健康保険や企業の健康保険、公務員の共済組合など、いわゆる「サラリーマン」の健康保険に加入している人の扶養家族として健康保険料を負担していない方。国民健康保険に加入されている方は該当しません。

保険料の納め方

1 特別徴収

年額18万円以上の年金を受け取っている方は原則、年金から天引き(特別徴収)されます。

※介護保険料と合わせた保険料額が、年金額の2分の1を超える場合は特別徴収の該当者となりません。

2 普通徴収

特別徴収に該当しない方は、口座振替または納付書などで納めていただくこととなります。

保険料を滞納したとき

災害などの特別な理由なく保険料を滞納した場合は、通常の被保険者証より有効期間の短い被保険者証(短期被保険者証)を交付する場合があります。

また、滞納が一年以上続いた場合には、被保険者証を返還してもらい「被保険者資格証明書」が交付される場合があります。

資格証明書の交付を受けた場合、医療機関の窓口では、いったん医療費の全額を支払っていただき、その後、各市町窓口で申請することにより、保険給付費相当額の支給を受けていただくこととなります。

2月から住民説明会

2月から各地区(公民館単位)で予定しています。

来月号(2月号)に日時・開催場所などの日程をご案内します。

問い合わせ

市医療制度改革推進室(☎22・7194)
石川県後期高齢者医療広域連合
(☎076・223・0140)

図1

軽減割合	判定基準
7割軽減	基礎控除額(33万円)を超えない世帯
5割軽減	「基礎控除額(33万円)+24.5万円×被保険者の数(被保険者である世帯主を除く)」を超えない世帯
2割軽減	「基礎控除額(33万円)+35万円×被保険者の数」を超えない世帯

※基礎控除額の数値については、税制改正などで変更されることがあります。

1月18日に「後期高齢者医療フォーラム」

日時 1月18日(金) 午後1時~4時
場所 石川県地場産業振興センター(金沢市鞍月)
内容

①基調講演 講師:土佐和男さん

(厚生労働省高齢者医療制度施行準備室)

②パネルディスカッション

「高齢者の医療及び保健の現状とあり方」

※どなたでも参加できますが、会場までの送迎はありません

問い合わせ

市医療制度改革推進室(☎22・7194)

70歳から74歳までの方の窓口負担は1年間据え置き

平成20年4月から平成21年3月までの1年間は医療機関などでの窓口負担を「1割」に据え置く予定です。

※既に窓口負担が「3割」の方、後期高齢者医療制度が適用される方は除きます。

正式に決定された場合、新たな高齢受給者証を平成20年3月末までにご自宅などへ再送付します。

問い合わせ 市総合窓口課・国保年金係(☎22・7194)

誰もが安心して住める
福祉のまちづくりを
目指して

民生委員児童委員
主任児童委員
地域福祉員

民生委員児童委員、主任児童委員の改選が全国一斉に行われ、羽咋市でも12月1日付で民生委員児童委員69人、主任児童委員14人、地域福祉員51人の皆さんを委嘱しました。

民生委員児童委員は、高齢者・障害者・低所得者など社会的に弱い立場の人たちの相談・援助活動、児童の健全育成などを主な職務としています。生活する上で困難な問題が生じたとき、親身になって悩みなどを聞き、福祉サービスの紹介や行政機関とのパイプ役を務めます。

主任児童委員は、児童・妊産婦の福祉に関する相談・援助活動を専門的に担当し、他の委員とともに、最近問題となっている子ども虐待の防止活動にも取り組みます。

地域福祉員は、民生委員児童委員、主任児童委員とともに、地域の福祉活動に取り組みます。

生活上の悩みや困り事などは、お近くの民生委員児童委員、主任児童委員、地域福祉員に相談してください。

なお、氏名横のカッコ内の町名は担当町名です。

問い合わせ 市健康福祉課・地域福祉推進係 (☎22・5314)

羽咋地区(29人)

民生委員児童委員

本多紀美子(川原町)
高見 健(川原町)
松永きみ代(東川原町)
西屋 康子(東川原町)
近藤 貞子(旭町)
立田紀美子(旭町)
竹本 信子(的場町)
山本 靖(本町)
本多智香子(本町)
伊賀 英子(中央町)
野口ふみえ(中央町)
中西壽美子(南中央町)

吉松 正子(白山)

一谷 祥子(宇賀)
北野 敬子(金比羅)
川崎 絹江(なぎさ)

主任児童委員

西村 麗子
松村美恵子

地域福祉員

煎野まち子(大宮)
水上 典子(白山)
瀬賀 和子(宇賀)
大門ノブ子(金比羅)
北出 春美(なぎさ)

主任児童委員

幸正真佐美

地域福祉員

和角 房江(太田町)
藤岡美恵子(三ツ屋町)
中居よし子(石野町)
幸地操登美(深江町)
藤井美恵子(若草町)
菅野 悦子(若草町)
上井 直子(次場町)
藤井 和江(吉崎町)
杉原 裕子(吉崎町)

室井 惣一(上白瀬町)

山中 章(神子原町)
吉田 正盛(神子原町)
中山 勇晴(菅池町)
森田 君枝(垣内田町)
若本 徳藏(本江町)
澤 孝子(本江町)
坂元 民子(尾長町)
嶋田 雅秀(掘替新町)

越路野地区(7人)

民生委員児童委員

濱邊 國紀(千路町)
丹羽 信子(千路町)
横山 榮司(柳田町)
林 久子(柳田町)

主任児童委員

酒井 照子

地域福祉員

細川 順子(柳田町)
川崎 さつ(上中山町)

余喜地区(11人)

民生委員児童委員

市塚 清隆(酒井町)
山本外紀子(酒井町)
川合 勇一(四柳町)
西田 美子(大町)
高澤 幹夫(金丸出町)
山崎 誠剛(下曾祢町)

主任児童委員

上田裕美子
宮田外志子

地域福祉員

稲村 和子(大町)
三宅美喜子(金丸出町)
高澤紀久美(下曾祢町)

一ノ宮地区(9人)

民生委員児童委員

塩谷 伸一(一ノ宮町)
松田 義明(寺家町)
山崎 昭男(滝町)
本吉 浄子(滝町)

主任児童委員

石田 博美

地域福祉員

谷口 明己(一ノ宮町)
渡辺 美鶴(寺家町)
竹津 克生(滝町)
野崎 美紀(滝町)

粟ノ保地区(11人)

民生委員児童委員

西 琢郎(新保町)
酒井 三郎(粟生町)
藤田 晴美(土橋町)
萩田 克明(兵庫町)

主任児童委員

北山登志美

地域福祉員

虎尾 由香(新保町)
鳥井恵津子(粟生町)
榊田 恵子(栗原町)
寺崎千恵子(立開町)
堀田和歌子(兵庫町)
九谷多江子(兵庫町)

邑知地区(29人)

民生委員児童委員

天田 博之(飯山町)
永山 静子(飯山町)
山田 茂(宇土野町)
中原 善治(白瀬町)
尾高トミ子(福水町)
鍋谷佐多子(中川町)
窪田 正治(神子原町)
茶畑 孝正(千石町)
浅野由美子(千代町)
吉野 清子(四町)
松田さよ子(上江町)
堀井美智子(円井町)
柏原登代美(本江町)
能山美谷子(本江町)
吉田 久榮(尾長町)
前田 賢正(志々見町)
角屋 正子(菱分町)

主任児童委員

石井 清介
前田 泰子

地域福祉員

小松 菊子(飯山町)

千里浜地区(12人)

民生委員児童委員

西 忠勝(大宮)

富永地区(14人)

民生委員児童委員

山邊 弘子(太田町)
宮形 秀市(石野町)
北方 康晴(深江町)
吉田美知子(吉崎町)

鹿島路地区(5人)

民生委員児童委員

駒井 庸和(鹿島路町)
川合 修一(鹿島路町)
松本 薫(鹿島路町)

主任児童委員

松本 正子

地域福祉員

三宅 愛子(鹿島路町)

上甘田地区(7人)

民生委員児童委員

栗木 信義(柴垣町)
中山 観能(柴垣町)
松岡 昌子(柴垣町)
長濱 和美(滝谷町)

主任児童委員

東 淑子

地域福祉員

高井 三幸(柴垣町)
前波かよ子(柴垣町)

所得稅・住民稅が變わっています 平成19年から稅源移讓で



身近でよりよい行政サービスを行うため、国（所得稅）から地方（住民稅）への「稅源移讓」が始まりました。
それに伴い、ほとんどの方は、平成19年1月から所得稅が減り、その分6月から住民稅が増えています。
しかし、稅源の差し替えなので、「所得稅+住民稅」の稅負担は基本的には変わりません。

＜稅制改正による主な變更点＞

【平成19年分の所得稅の確定申告における主な稅制改正事項】

○定率減稅の廃止

平成18年分をもって、定率減稅（10%相当額最高12万5千円）が廃止されました。

○所得稅の稅率の改正（稅源移讓）

国と地方の間で稅源移讓が行われたことにより、所得稅の最低稅率を5%に引き下げ、最高稅率を40%にした上で、現行の4段階から6段階までの稅率構造に改められました。

○地震保險料控除の創設

損害保險料控除を組み替えて、地震保險の保險料の金額の合計額（最高5万円）を控除する地震保險料が創設されました。

また、平成19年分から損害保險料控除が廃止されましたが、一定の長期損害保險契約などに係る損害保險料については、経過措置として、地震保險料控除の対象とすることができます。

＜能登半島地震で被災された皆さまへ＞

「雜損控除申告相談会」を開催

地震などで住宅や家財などが損害を受けたときは、一定の要件を満たせば、確定申告を行うことで、所得稅の軽減または免除を受けることができます。

日時	1月17日(木)、28日(月) 午前9時30分～正午、午後2時～4時30分
場所	コスモアイル羽咋・ロトンダ (17日) 市役所4階・401会議室 (28日)

持参書類

1. 被害を受けた資産の明細（資産内容、取得時期、取得価格など）がわかるもの
2. 被害を受けた資産の取り壊し費用、除去費用その他これに類する費用で、被害に関連して支出した金額の明細がわかるものおよびその領収書
3. 被害があったことで受け取る保險金、損害賠償金、災害見舞金などの金額がわかるもの（支給見込額含む）
4. 市町から「り災証明書」の交付を受けている場合には、同証明書（写し可）または被害のあったことがわかるものを持参してください。
5. 給与所得者の方は、「平成19年分給与所得の源泉徴収票」を持参ください。
6. 筆記用具、計算機

＜確定申告書を提出される方へ＞

作成された確定申告書は受け取りますが、この相談会は雜損控除額の計算が中心となりますので、ご了承ください。

所得稅から住宅ローン控除額を引ききれなかった皆さまへ

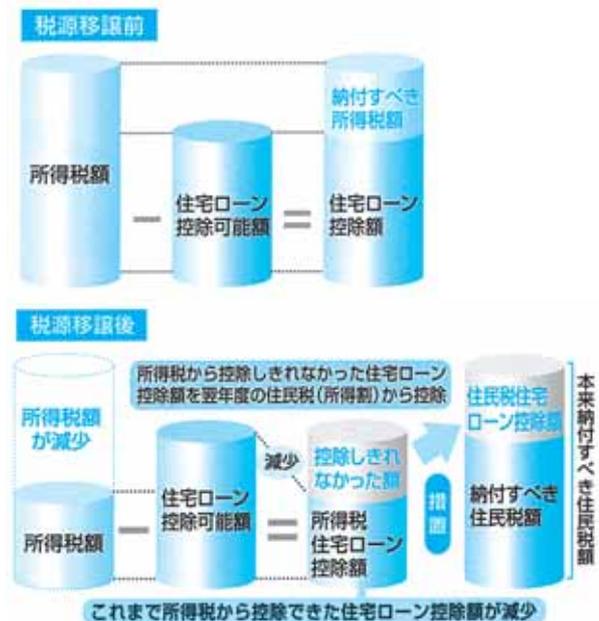
平成19年分の所得稅の稅率に変更になったことにより、所得稅が減額となり、住宅ローン控除をしきれない場合があります。

平成18年末までに入居し、所得稅の住宅ローン控除を受けている方で、所得稅から控除しきれなかった額がある場合は、平成20年度の市民稅・県民稅から控除できます。

この場合は、平成20年3月17日までに「市町村民稅道府県民稅住宅借入金等特別稅額控除申告書」を提出してください。申告書は市稅務課にあります。

給与所得者	源泉徴収票を添付して市へ提出
確定申告される方	所得稅の確定申告書とともに稅務署へ提出

※この適用を受けるためには、平成20年以降毎年申告が必要となります。



問い合わせ 七尾稅務署 (☎0767・52・9336)・市稅務課 (☎22・7130)

Event イベント

「映画友の会羽咋」定期鑑賞会

1月の上映作品

〈午後6時30分開場、午後7時開演〉
 12日(土) 西遊記(2007年日本)
 26日(土) 映画に愛をこめて アメリカの夜(1973年フランス、イタリア)
場所 コスモアイル羽咋
 3階コスモシアター
問い合わせ 市生涯学習課・文化係
 (☎22・9331)

クラシカル1月行事

☎27・1153

■古着のリフォーム教室

日時 1月19日(土) 午前9時～
定員 20人 **参加費** 200円
内容 古着を使い小物作り。ごみを出さない工夫と布の有効利用。
持ち物 50センチ四方の布1枚、裁縫道具
講師 原田洋子さん

羽咋に伝わるむかしばなしを聞いてみよう(羽咋のむかしがたり)

日時 1月26日(土)
 午後2時～2時40分
場所 羽咋市歴史民俗資料館
語る人 れきみんボランティア
対象 どなたでも。大人も大歓迎
問い合わせ
 歴史民俗資料館 (☎22・5998)



▲7月に行われた「むかしがたり夏休みスペシャル」

初心者スノーボード教室 1月20日に瀬女高原で

日時 1月20日(日)
 午前7時～午後6時
集合 羽咋体育館(発着とも)
場所 白山瀬女高原スキー場
講師 本吉義明氏
 (JSBA C級インストラクター)
対象者 中学生以上 定員 20人
参加費 2,000円(保険料込、バモスはくい会員は500円)
その他 昼食代とリフト代は各自負担、用具一式のレンタル料(4,000円程度)
申込締切 1月11日(金)まで
問い合わせ・申込み バモスはくい事務局(市体育課内、☎22・3396)



Invitation 募集



まちづくり・人材育成のきっかけ講座 「おじいちゃんとおばあちゃんが学ぶ 今どきの子育てと子どもの病気」

日時 1月17日(木) 午後2時～4時
場所 市文化会館2階・第4研修室
内容 「孫をみてあげたいけどちょっと自信がない」「若夫婦の育児、わたしらの時と違うけどあんでいいがかね?」そんな、おじいちゃんおばあちゃんへの不安や疑問にお応えします。
講師 轟千栄子氏(とどろき医院)
募集人数 20人
 (定員になり次第締め切ります)
問い合わせ・申込み NPO法人わくわくネット・はくい(☎22・0909)

簡易郵便局受託者を募集します

郵便局株式会社では、大川町・釜屋町近辺で簡易郵便局業務を受託していただける方を募集しています。業務を行うための施設を提供して下さる方、または関心のある方は下記へお問い合わせ



問い合わせ

郵便局株式会社
 羽咋郵便局 (☎22・0754)
 北陸支社 (☎076・220・3265)

東海北陸自動車道全線開通記念プレ事業 「飛・越・能」キャッチフレーズ募集

今年の夏に東海北陸自動車道が全線開通します。今後、中京圏とのモノ・ヒト・情報の交流拡大が期待されるなか、飛越能経済観光都市懇談会では飛騨・越中・能登地域を発信・PRするためのキャッチフレーズを募集しています。

募集内容

「飛騨・越中・能登」を総合的に想像でき、親しみのわくキャッチフレーズ

応募方法

郵便はがき、FAXまたは電子メール

記載事項

①キャッチフレーズ(ふりがな) ②愛称の簡単な説明 ③〒住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を明記。

※メールで応募の際は、題名に「飛越能キャッチフレーズ募集」と記入。応募点数3点まで。ただし1通(1送信)につき1作品。

募集期間

1月4日～31日(当日消印有効)

応募先

〒933-8601 高岡市広小路7-50
 高岡市商業観光課
 「東海北陸自動車道全線開通記念キャッチフレーズ募集係」
 FAX: 0766・20・1496

E-mail: kansen@city.takaoka.lg.jp

URL: http://www.hietsuno.net/

問い合わせ

高岡市商業観光課(☎0766・20・1301)
 市商工観光課(☎22・1118)

Information お知らせ

スリーアール 今月の3R作戦

10月号、11月号で2つ（リデュース、リユース）を紹介しました。3つ目は、**Recycle（リサイクル）**。

・生ごみや刈草は、コンポスト、生ごみ処理器を利用し家庭菜園や花壇の堆肥として利用しましょう。

・空き缶、空きビン、牛乳パック、ペットボトル、容器包装プラスチックは分別して資源ごみに出しましょう。

・新聞、雑誌、ダンボールの古紙は集団回収時に出し、積極的に地域のリサイクル活動に参加しましょう。

3Rは買う人、売る人、作る人が協力合って実現します。

問い合わせ 市環境安全課
(☎22・7137)

窓口での本人確認にご協力ください

第三者による虚偽の届け出や各種証明書の発行を防止するため、本人確認をお願いしています。

窓口へお越しの際は、ご本人を証明できるものをお持ちください。

提示していただくもの

運転免許証・健康保険証など

問い合わせ 市総合窓口課 (☎22・1112)、市税務課 (☎22・1113)

2月から始まります 「やさしい古文書講座」

初めての方でもわかりやすい古文書講座を2月、3月に開催予定です。

詳しい日程は広報2月号でお知らせします。

問い合わせ・申込み
歴史民俗資料館 (☎22・5998)

市民リサイクル銀行 1月分

■譲ります (今月はありません)
■譲ってください

バインダー(刈取機)、羽咋幼稚園制服(男子用)、屋内用すべり台

問い合わせ 市商工観光課
(☎22・1118)

裁判員制度広報用映画上映会をコスモアイル羽咋で

国民の皆さんが、刑事裁判に参加する裁判員制度が、平成21年5月までに始まります。

今回、子どもから大人まで、見るだけで裁判員制度を理解できる映画(3本)の上映会を開催します。



日時 1月26日(土) 午後1時30分開場(午後4時終了予定)

・午後2時～ 「リホちゃんナビスケの裁判所ってどんなところ？」
(小学生向け)

・午後2時20分～ 「ぼくらの裁判員物語」(中学生向け)

・午後2時50分～ 「裁判員 選ばれ、そして見てきたもの」

場所 コスモアイル羽咋小ホール・ロトンダ

入場 無料(どなたでも。途中からでも自由にお入りください。)

※当日の参加者には、先着100人の方に限り、特製の裁判員制度広報用グッズ(定規、ボールペンなど)を差し上げます。

問い合わせ 金沢地方裁判所総務課庶務係 (☎076・262・4432)

千路町

宝くじの助成受け千路町会館が完成

千路町町会では、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業の適用を受けて待望の町会会館の落成式を12月2日に行いました。

会館は、従来のコミュニティ活動に加え、高齢者の生きがいづくり、少子化に対応した学童保育、青少年の健全育成、災害時の避難場所として活用されます。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

【広告欄】

お客様にご満足いただける
「品質」「価格」



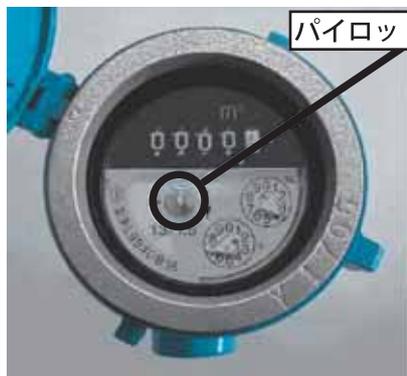
新鮮!
まぐろやグループ



TEL(0767)22-7700

月に一度は宅内の漏水チェックを

宅内の漏水の有無を確認する場合、家の中の蛇口を全部閉め、水道メーターボックスのふたを開けて、パイロット（銀色の丸いコマ※下図参照）が回っていれば漏水ですので、業者に修理を依頼してください。



水道検針は、毎月行っていますが、積雪時には、検針できない場合があります。できる限りメーター付近の除雪に協力をお願いします。

また、漏水の発見が遅れると

水道料金が高額になることもありますので、使用者の方もこまめに確認することをお勧めします。

問い合わせ 市上下水道課 (☎22・7133)

「わくわく子ども広場」 小学生のみんな、この指と〜まれ!

内容 工作教室〜たこをつくってあげてみよう!〜

日時 1月12日(土) 午前10時〜正午

集合場所 市文化会館1階展示室

対象 小学生20人 参加費 100円

申込締切 1月9日(水)

※定員になり次第締め切ります。

問い合わせ・申込み

NPO 法人わくわくネット・はくい (☎22・0909)



工事の発注状況 (1千万円以上) 11月

◆平成19年度公共下水道栗生北マンホールポンプ設備工事 (1千113万円、北陸電気設備㈱) ◆平成19年度下水道関連水道管支障移転工事 (特環千代第2工区) (2千646万円、(有)嵐工業所) ◆平成19年度公共下水道滝町地内舗装本復旧工事 (2千142万円、加州建設㈱)
*入札結果は、市のホームページで公開しているほか、どなたでも市企画財政課 (☎22・7192) で閲覧できます。

余喜歌会



富士の山大和の国の魂を 宿しているらしあふれ出る水	健診の疑い晴れた帰り道 ハンドル軽く家路を急ぐ	北帰せず長曾の川に雛守りし 白鳥末広の濤を描きて	亡母のあと追いたる伯母はリュウマチの 痛みを脱いで風となりしか	袖倉島漁する人は目印に 石高く積み無事を祈れり	さわやかに返す日本語二十二歳の 中国青年目指すは社長と	主につき手綱ゆるめて歩み行く 大型犬の目つき穏やか	老いゆくをしかと受け止め咲く花の 四季を愛しむ吾れでありたし	はなびらの光舞ひ込む玄關の 茶会間近き風の稽古日	法隆寺拝みし帰り斑鳩の 道晩秋の夕日が沈む	大伽藍包む紅葉の坂道を 登れば読経静かに聞こゆ	風音に四季のおとずれ聞き分けし 亡姑思い聞く木々のざわめき	眼もくらむ傾斜駆けくる若者ら 自転車競技に脛当てはめて
吉田 雪美	山崎ひとみ	村田美弥子	小山 和子	窪田喜美恵	菊川あき映	川口 芳子	川口 浩子	金田美代子	岡山のぶ子	今井きよ江	稲村千賀子	松本 一男

【広告欄】

大好評 入院も死亡も手厚い保障!

総合保障型



月掛金2,000円(総合保障2型)で幅広いリスクに対応します。

元氣なお子様をサポート

こども型

高齢社会に心強い味方

熟年型

住まいと家財を保障

新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は

スピード給付の **県民共済**

通話料無料 **0120-63-5011**

☎ 076(263)5011(代) ☎ 076(263)5107

営業時間 ▶ 土・日・祝日を除く 9:00~17:00

ホームページアドレス <http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/>
携帯電話からはこちらへ▶ <http://kyo-sai.jp/>

取扱団体 **石川県民共済生活協同組合**
石川県認可 〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F

☎=市役所

■問い合わせ

市役所代表電話(☎22・1111)

放送大学で生きがいづくりを
～4月入学生募集～

放送大学では、平成20年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。

働きながらの大学卒業やキャリアアップ、退職後の生きがいづくりなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

資料を無料で配布しています。気軽にお問い合わせください。

募集期間 2月29日まで

問い合わせ

放送大学石川センター

(☎076・246・4029)

ホームページ <http://www.u-air.ac.jp>

人口の動き

■人口 24,648人(+3人)

□男性 11,704人(+6人)

□女性 12,944人(-3人)

■世帯数 8,350(+11)

■異動

□出生 15人 □死亡 27人

□転入 52人 □転出 37人

*平成19年12月1日現在、

()内は前月比。

[住民基本台帳人口から]

今月の納税

納期限 1月31日(木)

(市税) 市県民税 4期

国民健康保険税 7期

日 時	行 事 名	場 所	担 当
4 金 10:00	シルバー人材センター入会説明会	勤労者総合福祉センター	シルバー人材センター
5 土 9:00	羽咋市消防団出初式	文化会館	環境安全課
6 日 7:00	パモスはくいスキー教室	牛岳温泉スキー場	体育課
7 月 13:00	野の花サロン	ボランティアセンター	社会福祉協議会
9 水	図書館整理休館日		図書館
10:00	リズムダンス教室	羽咋体育館	体育課
19:30	リズムダンス教室	文化会館	体育課
11 金 10:00	ママの会 ももいろたんぽぽ	文化会館	健康福祉課
12 土 19:00	映画友の会羽咋 定期鑑賞会 「西遊記」	コスモアイル羽咋	生涯学習課
13 日 9:30	シェイプボクシング教室	羽咋体育館	体育課
	平成20年羽咋市成人式 11:30 新成人受付・交歓会開始 13:00 恩師のビデオレター上映 13:20 式典開始	コスモアイル羽咋	生涯学習課
15 火 10:00	シルバー人材センター就業相談	勤労者総合福祉センター	シルバー人材センター
16 水 10:00	シルバー人材センター入会説明会	勤労者総合福祉センター	シルバー人材センター
13:15	4か月児健診	文化会館	健康福祉課
13:30	総合相談	☎203、101会議室等	総合窓口課
14:00	BCG 予防接種	文化会館	健康福祉課
17 木 9:30	雑損控除申告相談会	コスモアイル羽咋	税務課
13:00	法律相談(要予約4人まで)	☎市民相談室	総合窓口課
19 土 9:00	クリンクルはくいの 「古着のリフォーム教室」	クリンクルはくい	広域圏事務組合
13:30	羽咋市少年少女発明クラブ 静電気で遊ぼう	コスモアイル羽咋	生涯学習課
14:30	たのしいおはなし会	コスモアイル羽咋	図書館
20 日 7:00	パモスはくいスノーボード教室	瀬女高原スキー場	体育課
21 月 10:00	あかちゃんおはなし会	図書館	図書館
13:00	野の花サロン	ボランティアセンター	社会福祉協議会

日 時	行 事 名	場 所	担 当		
23 水	10:00	リズムダンス教室	羽咋体育館	体育課	
	13:15	3歳児健診	文化会館	健康福祉課	
	19:30	リズムダンス教室	文化会館	体育課	
24 木	13:15	1歳6か月児健診	文化会館	健康福祉課	
	26 土	14:00	羽咋のむかしがたり	歴史民俗資料館	文化財課
		16:00	羽咋市体育協会優秀選手表彰式	羽咋公民館	体育課
27 日	18:00	羽咋市体育協会新年互礼会	休暇村能登千里浜	体育課	
	19:00	映画友の会羽咋 定期鑑賞会 「映画に愛をこめて アメリカの夜」	コスモアイル羽咋	生涯学習課	
	28 月	9:30	シェイプボクシング教室	羽咋体育館	体育課
9:30		雑損控除申告相談会	団401会議室	税務課	
30 水	13:00	野の花サロン	ボランティアセンター	社会福祉協議会	
	10:00	健康づくり推進員研修会	羽咋労働者総合福祉センター	健康福祉課	

12月号に広報はくいに関するアンケート用紙をお送りしました。出し忘れていた方がいらっしゃいましたら、お早めに出していただくようお願いいたします。



ゆうなぎ姫
(広報はくいオリジナルキャラクター)

氷見だより おとなり・氷見市のイベント情報

本場！氷見のぶりしゃぶまつり 開催中（2月29日まで）

冬を迎え、「寒ぶり」が旬の時期を迎えています。

氷見市では、この「寒ぶり」をPRするため、「本場！！氷見のぶりしゃぶまつり」と題して、氷見市内の宿泊施設・飲食店37施設で、寒ぶりの今年話題の楽しみ方、「ぶりしゃぶ」を提供しています。

ぜひ、冬の氷見の味わいをお楽しみください。

開催期間 2月29日(金)まで

問い合わせ 氷見市観光協会 (☎0766・74・5250)

※詳しくは、氷見市観光協会ホームページ (<http://www.kitokitohimi.com/>) をご覧ください。



+ 1月の休日当番医

(午前9時～正午：事前連絡必要)
*変更となる場合もありますので、当日の新聞などをご確認ください。

1日(火)

平場内科クリニック

羽咋市中央町 ☎22・0238

田村眼科クリニック

羽咋市鶴多町 ☎22・0026

2日(水)

松沼医院 (内科、小児科)

宝達志水町敷浪 ☎29・3188

志賀クリニック (内科)

志賀町高浜町 ☎32・5307

3日(木)

羽咋診療所 (内科)

羽咋市柳橋町 ☎22・5652

四蔵医院 (内科)

志賀町仏木 ☎37・1030

6日(日)

松江外科胃腸科医院

羽咋市松ヶ下町 ☎22・7888

河崎医院 (外科、内科、胃腸科)

志賀町高浜町 ☎32・0019

13日(日)

新谷医院 (循環器科、胃腸科)

志賀町末吉畷 ☎32・3311

いがわ内科クリニック

羽咋市鶴多町 ☎22・7800

14日(月)

前川医院 (内科)

羽咋市酒井町 ☎26・0210

池野整形外科医院

志賀町高浜町 ☎32・0040

20日(日)

羽咋池野整形外科医院

羽咋市南中央町 ☎22・0254

岡田医院 (内科)

志賀町富来領家町 ☎42・1921

27日(日)

疋島クリニック (外科、内科、胃腸科)

羽咋市旭町 ☎22・1205

ひよりクリニック (内科、外科)

志賀町富来地頭町 ☎42・2300

窓口業務 (住民票写しの交付や国保年金手続きなどを、平日午後7時まで延長しています。(総合窓口☎22・1112))

おわびと訂正

前号(平成19年12月号)の「年末年始の公的機関業務案内(21頁)」に記載漏れがありました。

おわびして訂正します。

記

■公立羽咋病院の休日

誤：12月29日から1月3日まで

正：12月29日から1月3日まで

および1月5日、6日

神子原はお米だけじゃない

能登野菜に認定「神子原くわい」

羽咋の1.5次産業にかかわる人物を紹介します。



たかぎ まさふみ
高木 正文さん

(神子原町)

プロフィール

神子原町在住。昭和7年生まれ。稲作を中心に農業を営む。くわいを栽培して30年。現在、神子原くわい生産組合の代表を務める。



▲とれたてのくわい

ピンポン球ほどの青白い実に大きな芽をつけていることから、「芽が出る」と縁起物として、おせち料理に使用されるくわい。昨年7月、能登野菜振興協議会が認定した能登野菜10品のなかに、神子原でとれるくわいが選ばれました。

今や石川県内一の生産量を誇る神子原産のくわいですが、本格的に栽培が始まったのは昭和55年ごろからで、当初は棚田の転作作物として導入されました。

「碓石ヶ峰の豊富できれいな水に恵まれており、自家用として以前から栽培していたので、取り組みやすかったですね」と話すのは、神子原くわい生産組合代表の高木正文さん（75歳）。

現在、神子原地区でクワイを栽培する農家は13軒。栽培面積は合



▲ポンプを使いくわいを掘り起こす高木さん（左）と浮き上がったくわいを拾い集める妻・美代子さん

わせて130%で約6トンが市場に出荷されています。

くわいは田植え後の6月下旬に種を植え付け、稲刈り後の11～12月に収穫されます。

収穫までには、日当たりや風通しを良くすることで、病気を防ぎ、粒のそろった大きなくわいを作るために、わき芽取りや葉かき、根まわし、洗抜きと呼ばれる独特の作業を行います。

さらに、使える農薬が少ないため、除草もほとんどが手作業になるのだとか。

手間がかかり、収穫を寒い時期に行うためか生産者が増えず、後継者が育っていないのが悩みと話す高木さん。「新しい調理方法を紹介するなど、くわいの魅力をもっとアピールして消費拡大に努めるのも大事なこと。担い手不足は地区の人たちに働きかけるなどして生産者が一丸となり、これからもくわいの特産地を守っていきたい」と熱い思いを語ってくれました。



参道を進み仁王門をくぐり抜ける
と、正面に見えるのが五重塔です。
元和4（一六〇八）年、加賀藩主・前田利常の命により建てられた、高さ34・18尺、屋根は榎葺の北陸唯一の木造五重塔です。
昨年3月に起きた能登半島地震でも、外観や内部の木組みに傷などは見当たらず、地震に強い建物であるということが証明されました。
また、五重塔を国宝にする運動も展開されており、昨年11月には国宝指定に向けてのシンポジウムが開かれるなど地元で機運が高まっています。（3次参照）

羽咋市の文化財

妙成寺五重塔

(滝谷町)

重要文化財 建造物
(昭和25年8月29日指定)

編集後記

■今月号の「地区懇談会」や「市議会」の記事にもあるように、羽咋市の財政は大変厳しい状態です。来年度の事務事業についても見直しが行われています。広報紙も例外ではありません。今の広報はくいはどうなのか、皆さんは何を望んでいるのか。それを探るべく12月号にアンケート用紙を付けさせていただきました。皆さんのご意見をお待ちしています。これから広報紙に少しでも反映させたいと考えています。「出してない！」という方、まだ間に合います。ご協力をお願いします。
(広報情報管理係 石山 裕樹)

■「やっぱり子ども（津幡町のまこちゃん）かあ」ふるさとCM大賞の最終審査会場で、発表の瞬間に出た言葉でした。初の栄冠とはならず、優秀賞で幕を閉じました。羽咋にクワイありと広くPRできるCMになったと思います。今回のCMは、年明けから年間150本放送されます。これから新たな情報発信ができればと期待しています。
(広報情報管理係 田中 哲也)

広報はくいは No.667
(平成20年2008)
1月号



広報はくいは、エコマーク認定の古紙率100%再生紙と大豆油インクを使用しています。羽咋市は、環境保全活動を積極的に推進しています。